

硫黄島訪島手記

「先達の想いを未来へつなげ」

二〇二三年度公益社団法人日本青年会議所 神奈川ブロック協議会第46代会長 (ケンプ株式会社 代表取締役)



鈿持 賢祐 氏

先達の生き様を想うと 文章にするのは甚だ難儀 であり、軽々しく敬語な 現代人である我々の想い で書稿していいものなの が悩んだ。それから数年 が経ち、令和を生きる日 本の責任世代のひとつと して少しでもこの事を伝えていかなければならない、ある 種使命感のもと感じたことを書いてみたい。



機上の小さな窓から 見たその光景は青く美 しい大海にボツンと浮 かい、ところどころ白い 大地がむき出しになっ ているものの緑豊かな 美しい島だった。過去の 歴史さえ知らなかった らそれだけで良かった のかもしれない。しかし、この島は大東亜戦争末期に日米 の激戦が繰り広げられ日米双方で約5万人もの死者を出 した硫黄島である。



2万人の命が失われた。想像を絶する 地獄である。痛かったろう、苦しかっ たろう。こんな地獄絵図の状況下で 先達は何を想い残っていたのだろうか。 本土爆撃を急ぐ米軍は飛行機で遺骨 の整備を急ぎ、日本兵の遺体を埋葬す ることなく土と一緒にブルドーザー で地面をならしコンクリートを流し 込んだという。いまだ未収骨の遺骨 1万2千柱の英霊がその下に眠っている。島全体が墓場な のだ。遺骨の遺骨収集は遺族の手で少しずつ行われている。 自衛隊基地というところもあり規制が多く、思うよう に運まないのが現状である。英霊の眠るコンクリートの 上でいまだに米軍戦闘機の離着陸訓練が行われている。それ をただたんと見ていて、どうにもこうにも出来ない 我々の無力さが情けなく不甲斐ない。

戦後七〇余年の間に日本は高度経済成長を経て物質的な豊 かさを手に入れた。しかし、日本は本当に真の豊かさを手 に入れたのか。親が子を子を親を殺して自分さえ良ければの 自己中心主義、お金が全ての拜金主義、嘘で塗り固められ 歪められた歴史認識、利他のこのころなき道徳倫理の欠落が 横行する現代社会、先人が持ち合わせた古き良き日本 の精神性が忘れ去られていくことを忘れてはならない。 戦時中家族や国の幸せと未来の為に犠牲となつた先達に対 して我々は心から敬意を表し日本人である誇りや国の真を後 世に伝えていかなければならない。我々は家族や地域とし て国に生かされている。国家も我々個人の集合体があり成 り立つものである。自分ばかりの利益だけを追求するの でなく公に對し少しでも有益に貢献していくことがなけれ ば国家の崩壊に繋がっていく。まず我々は過去の歴史を 風化させず報道プロパガンダに左右されない確りのない 正確な歴史認識を持って後世に伝えていかなければ先達が うかばれない。戦後 七〇余年が経ち国際 情勢も急速に変化し 様々な問題が山積し ている。先達の誇り を無敵にせぬよう気 概をもって、戦後の 軟弱な日本を創出す べく今こそ地域や国 の未来のために行動 することが我々の責 務である。合掌



令和三年三月吉日

「守る」尖閣諸島と日本の主権

参議院議員 元国務大臣 有村 治子

どなたもぜひ領土主権館へ 昨年一月、東京虎ノ門に領土主権展示館が拡張オープンしました。私自身も一時間半かけて全展示を拝見しましたが、我が国固有の領土、北方領土、竹島、尖閣諸島に関して大変充実した資料が揃っています。日本の領土を平和的に守るために、一人でも多くの方々に関心を持って頂ければと思います。

中国は尖閣を日本の領土と認識していた そもそも我が国がどのようにして尖閣諸島の帰属を確立したのか？明治時代、尖閣は「無主の地」、すなわち所有者がいない土地でありました。当時の中国であった清国にも確認した上で明治政府は、一八九五(明治二十八年)沖繩に編入すると告示し、閣議決定を経て、日本の領土に組み入れました。

一九六八年、国連アジア極東経済委員会が、尖閣沖での調査を始め、周辺海域に石油が豊富に埋蔵されている油田の可能性を発表しました。これを受けて一九七一年以降、中国や台湾が尖閣領有権を主張し始めたのですが、両者の主張には国際法上の根拠はありません。



有村 治子 氏 参議院議員 (比例代表/全国区選出)

昭和45年生まれ。平成13年、参議院選挙 比例代表(全国区)にて初当選。現在4期目。文部科学大臣政務官、参議院自民党政務会長を歴任。平成26年、安倍内閣にて初代女性活躍・行政改革担当大臣として初入閣。現在は、自民党広報本部長、自民党憲法改正推進本部副本部長等を務める。初当選以来、領土問題、特に教科書における領土教育の充実に取り組んでいる。

日本の領土(竹島、尖閣諸島等)を守るため行動する議員連盟の皆様

計11名(自民 96、立憲民主 7、国民民主 3、日本維新 2、無所属 3) 令和二年十二月現在

Table with columns: 役職, 氏名, 所属党派. Lists members of the Japanese Territorial Sovereignty Alliance.

編集後記

多くの新しいメンバーを迎え活動十年目を迎えることが出来ました。あなたの選挙区の国会議員は、SNSで皆さんと領土領海問題の重要性を伝えていきますか？

主権について考えよう

「主権」という用語は、「領土主権展示館」の名称にもなっている言葉ですが、いざ説明するにはなかなか難しい概念かもしれません。現象法の特徴の一つは「国民主権」です。主権すなわち、国の統治のあり方を決める権利は国民に属すると、謳われています。

「尖閣」が初めて行政地名に

統治権を行使する具体例としては、例えば〇〇町のように行政区を命名したり、地番を決めたり、税金を徴収する行政行為が挙げられます。あるいはまた、周辺の海洋調査や気象調査も、立派な主権行使であり、「統治」を行っている実態」となります。

領土領海、主権を守る国家の意志と覚悟

現在、内閣府及び外務省パンフレットにおいても、尖閣諸島が日本固有の領土だと説明しながらも、沖縄県石垣市の島々であるという行政事実の記述がほとんど書かれていません。尖閣諸島が何県の何市にあるのか明確にイメージされる国民の皆様が一体何処にいらっしゃるのでしょうか？



我が国固有の領土、現に沖縄県石垣市が地方自治に責任を負って確かな施政を行っているのですから、日本政府も同様、その主権行使を明確に発信する意図と領土を守り抜く意思を持って、沖縄県石垣市の尖閣諸島と首領に明確に明示するよう、これからも政府に粘り強く働きかけていきます。志を共有して下さる読者の皆さまもぜひ、「沖縄県尖閣諸島」「石垣市尖閣諸島」と意識的に呼びかけて頂ければ幸いです。

望郷

「望郷」とは 未だ返らぬ島への想いと希望を込めて 二〇〇八年度 社団法人 日本青年会議所 領土・領海問題委員会メンバーが中心となり、領土領海問題に対する国民意識の醸成を目的に設立された内閣府認証NPO法人です。志を共有する同士と協力して参ります。

編集発行先住所 東京都港区 TEL 03-5843-9504 FAX 03-5843-9505



理事長/佐藤 誠 発行責任者/川村 憲一 編集局長/須藤 紳次郎